

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

四日市版コミュニティスクールの運営要項に基づき、保護者・地域住民の方が主体的に学校運営に参画し、本校の学校づくりビジョンの目標である「あたたかさ たくましさ たしかさ」の実現を図ります。

①生徒の実態を把握し協議を重ねる ②地域と学校教育活動の融合 ③生徒と地域との双方向性での関わりを深める の3つの視点で推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

■和楽器演奏学習

本校3年生の音楽科の授業【雅楽】に地域のゲストティーチャーを招いて実施しました。箏・三味線・尺八の3つの楽器を生徒自身が選択し、複数回授業で指導を受けています。音楽科の中でも専門性の高い楽器であり講師の方々の力を借りることで充実した活動となりました。生徒もふだん触れることの少ない楽器ゆえに、関心意欲が増し、失敗しても努力して演奏を披露していました。



■「ウミガメのふるさと」吉崎海岸清掃ボランティアの講演会と学習会

ウミガメ産卵地である地元、吉崎海岸のボランティア清掃を中心とした講演会と資料を使った学習会を行いました。地元の方々によるウミガメの生態や自然環境を破壊する現実とその対策の講演をしていただいたのちに、資料を見せてもらい学習しました。地域のことだけに真剣に取り組む子どもたちの姿がありました。



■老人クラブとの交流会

地域の老人クラブによるグラウンドゴルフやお話し会を実施することができました。早朝から準備をしていただいた、楠地区老人クラブの方々の指導・助言でグラウンドゴルフからスタート。異世代の格差を埋めるレクリエーションで一気に打ち解けたあとに、かるたや昔の地域のお話しをしていただきました。高齢者も生徒もお互いに笑顔で、相互理解を深めることができました。



■花壇づくり

家庭との連携の一環として花壇づくりを予定していましたが、当日天候が悪く延期となり保護者とともに行うことはできませんでした。家庭との連携が行えなかったのは残念ですが、卒業を控えた3年生がこの時期に学級で花壇のデザインを考え、一斉に作業する意味は大きく、学校の環境整備にも大いに役立っていました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

保護者や地域の方との連携で終わらず、生徒たちの多くが地元の行事にボランティアとしてたくさん参加し、活躍している姿があり、グローバルな人材の育成にもつなげることができているように思います。また、地域が有する歴史・文化・自然・人材等のネットワークが広がるとともに、学校が活用可能な教育資源を見つけるためのきっかけづくりが運営協議会のひとつの役目であるように感じます。

地域の大人達が有する経験を多様な異世代交流を通じて次代に伝えるとともに、子ども達の学ぶ意欲、ふるさとを愛する心、地域の伝統文化を大切にする心などをはぐくむため、生徒と保護者・地域の方との多様なふれあいを確保するための場や機会を充実させることが重要です。

3 今後に向けて

地域の方々には、地域の担い手として子どもたちの活躍に期待しています。今後も、より一層、生徒会を中心にボランティア活動を推進し地域の発展に貢献していきます。将来「楠中学校出身でよかった。」と誇れる人材の育成に向けて地域・家庭・学校が一体となり、子どもたちの健全育成に向けて、双方向や多角的な視点を大切にしたい協議ができる学校運営協議会を目指します。

別紙B

令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立楠中学校

委員長 中村 克義

校長 小林 正英

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回CS運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■市教育委員会より委嘱状交付 ■授業参観 ■四日市版CSと運営協議会について ■学校づくりビジョンについて ■年間計画等の検討
6		
7		
8		
9	第2回CS運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■体育祭参観 ■生徒の様子や学校運営の意見交換
10	第3回CS運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■授業参観及び大規模改修後の校舎見学 ■今年度前半の取組の振り返り ■地域と生徒(学校)の関わりについて ■教育課題の解決に向けて
11	第4回CS運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■文化祭参観 ■学校づくりビジョン中間見直し ■これまでの活動に対する意見・評価
12		
1		
2	第5回CS運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■授業参観と大規模改修後の体育館見学 ■本年度の教育活動の総括 ■学校自己評価集計結果を基にした学校関係者評価 ■次年度への展望
3		